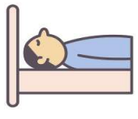
シスプラチン/5-Fu（CF)療法を受ける患者さんへ　　【患者さん用クリニカルパス】

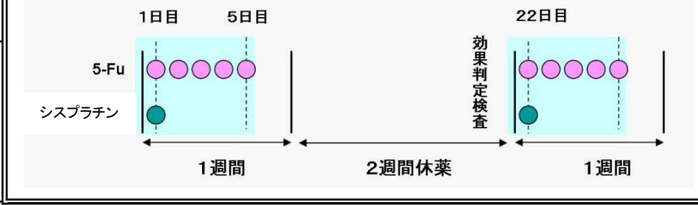
ID：　　患者氏名：　　様

CF

	化学療法開始準備					化学療法					化学療法終了後
	入院日	～4日前	3日前	2日前	前日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目以降
	/	/ ～ /	/	/	/	/	/	/	/	/	/ ～ 症状や副作用の改善具合で退院日を決定します。
目標	治療の経過がわかる					予定どおりに治療が終了する					順調に回復し、不安なく日常生活をおくることができる
説明指導	・入院生活について説明します ・尿をためる方法について説明します ・予測される副作用および予防法・出現時の対処法について説明があります					・点滴の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなった時は教えて下さい。医師・看護師が診察いたします ・副作用が出現した時は教えて下さい　症状を軽くするための注射や点滴などをいたします					・退院指導をおこないます
治療処置点滴	・化学療法開始準備のため、1日2000mLほどの点滴をします ・体力低下防止のためにリハビリテーション介入し、毎日リハビリを行います。 ・化学療法開始前日までに、肘や鎖骨の下の血管に **中心静脈カテーテル**を挿入します （処置は10～20分くらいです。カテーテルの部位確認のため、処置後にレントゲン検査があります） ・退院日まで、1日1回、体重測定をして下さい（点滴の量が多くなりますので、体重の増加に応じて利尿剤を使うことがあります）					○抗がん剤は、食道癌に効果がある**5-FU**と**シスプラチン**という3種類を使用します **スケジュール** ・朝11時から点滴による抗がん剤治療がはじまります。 ・1～5日目の5日間、**5-FU**という抗がん剤を24時間持続的に点滴します。 ・1日目は**シスプラチン**という抗がん剤も併用します。(13:30から2時間) ・その他、副作用の予防として、吐き気止め・利尿剤・ステロイド剤などの点滴をします					・食欲の回復に応じて点滴を減量します ・中心静脈カテーテルを抜去します ・副作用が続くときは点滴や注射をします **抗がん剤の主な副作用** （投与開始直後～数時間） 発疹・発赤などのアレルギー症状 →抗アレルギー剤・ステロイド剤投与 （投与開始から1～2日後から） 吐き気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 →吐き気止めの注射・点滴 （投与開始から数日経過してから） 白血球減少 → 白血球を増加する注射 下痢 → 整腸剤や下痢止め 口内炎 → 口内炎の内服薬や塗り薬 （投与開始から1～2週経過してから） 脱毛 → かつらやバンダナなどを使用
検査	・化学療法開始前に、採血・レントゲン検査があります					・必要に応じて検査をいたします（週1回は定期検査があります）					
食事内服	・ふだんどおりの食事でかまいません。食事がとおりづらい方は医師の指示に従って下さい ・内服薬の確認をいたします					・化学療法中食欲がないときは無理に食事をとらなくてかまいません。治療が終わると食欲は回復します ・お薬がのみづらいときは、内服をお休みにしたり、代わりの注射や点滴をします					食欲が戻りましたら、希望をお申しつけ下さい
生活行動清潔	・歩行は自由です ・入浴のときは点滴の刺入部をテープで保護します					・化学療法でだるさが強いときは安静にして休みましょう ・お風呂もつらいときは体をおふきしてします 					
その他症状	・入院に付き添いは必要ありませんが、希望されるときはお申しつけ下さい ・発熱のある場合は、化学療法を中止・延期いたしますので医師・看護師にお話しください					・副作用のひどい時は、抗がん剤を減量したり、化学療法を中止します いつでも医師・看護師に御相談ください					

投与スケジュール

1コースを3週間として、以下のスケジュールで2コース行う予定です
体調に応じて2コース目の開始は前後することがあります
次コースの開始前に効果判定の検査をおこないます



注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
外科